

PS 及び SM の 2012 年 10 月度 実績概況**1) PS の 2012 年 10 月度の実績概況**

生産は、10 月度は 9 月度に続き若干持ち直し気味で対前月比+5%、対前年同月比では+1%の 5.1 万トンとなった。

国内出荷はかなり落ち込んだ 8 月度以降増加してきており、10 月度は 9 月度に引き続き前月比+10%の 5.4 万トンとなった。これは前年同月比+4%となる。また、各用途とも前月比プラスとなり、前年同月比でも横ばいまたはプラスに転じている。

電機・工業用は低迷している中でも、前年同月と同じ 8.0 千トンで、前月比でもわずかながらプラスとなった。デジタル家電は相変わらず低水準だが、生活家電、記録メディアは前年同月比プラス、事務機器もほぼ前年同月並みとなり、全体では前年同月並みを維持している状況。

包装用は前年同月比+3%となり、9 月度に続き 10 月度も健闘している。用途別でも HI シート、OPS、乳酸菌、射出成型等すべて前年同月比プラスとなっている。

雑貨・産業用は前年同月比+10%となり、出荷が低かった前月比 30%強の増加となった。

フォームスチレン用も対前年同月比+3%となった。PSP、ボードとも前月比大きくプラスとなり、フォームスチレン全体では前月比約 20%増に相当する。

輸出は依然少なく、9 月度より増加したものの前年同月比-16%となった。

出荷合計は、国内出荷が若干好転しており、前月比+11%、前年同月比+3%の 5.6 万トンとなった

在庫は前月より 8%程度下がっている。

2) SM の 2012 年 10 月度の実績概況

生産は定修していた 3 社 3 工場が逐次立上がり、10 月下旬には各社全工場が稼働状態となり、前月比+16%の 18.1 万トンとなった。但し、前年同月比では 11 ヶ月マイナスとなり依然低迷は続いている。

国内出荷は、11.7 万トンで対前月比+13%、前年同月比ではほぼ横ばいの-2%と少し持ち直してきた。用途別で見みると、主力の PS 向けは前月比 15%増加し、前年同月比では+2%となった。EPS は 10 月度は前月比大きく好転し、前年同月比では+39%となった。合成ゴムは前月比プラスとなったものの、前年同月比では-18%と伸び悩んだ状態となっている。ABS 向けは前月比マイナスながら前年同月比+10%となった。不飽和ポリエステル向けは量は少ないものの堅調に推移し、前年同月比で+56%となっている。AS 向けは月度毎の変動は大きく 10 月度は前年同月比マイナスとなっている。

輸出は、8.5 万トンで前月より増加したものの前年同月比で-4%と低水準が続いている。

出荷計では前月より持ち直してきたものの前年同月比-3%となり、19 ヶ月連続のマイナスとなる。

在庫は 5.7 万トンで定修の関係もあり前月より約 1.9 万トン程度減っている。

(以上)